

**ACBAR はクンドゥーズでの人道支援職員とその施設および一般市民への攻撃を強く非難する**

ACBAR (アクバル: アフガニスタン救援開発調整機構 - 注参照) は、最近起きたクンドゥース市の MSF (国境なき医師団) の病院への攻撃に対して強い非難を表明する。報道によれば、2015 年 10 月 3 日の未明に MSF の病院が度重なる空爆を受け、12 人の職員と少なくとも 7 人の患者が死亡した。患者のうち 3 人は子どもだった。また 19 人の職員を含む 37 人が負傷した。

ACBAR は、加盟団体を代表し、この攻撃の犠牲者のご家族に対して心よりお悔やみを申し上げる。ACBAR は、この事件がなぜどのように起きたのかを、速やかに、かつ独立性と透明性をもって調査することを支持する。政府、非政府主体を問わず、すべての主体は医療保健活動の保護を掲げる国際人道法の原則に従うことが義務づけられている。紛争時における医療保健活動への攻撃や干渉は、人道支援を提供する能力を、それが最も必要とされるときに、そぐものであり、一般市民、とりわけもっとも脆弱な人びとに対して直接影響を与える。

最も重要なことは、武力紛争時を含め、緊急な人道支援が必要とされる状況において、人道支援団体がその人員・施設・活動が攻撃されないという保証のもと活動できることである。人道支援職員へのいかなる攻撃や脅迫、暴力、威嚇は、結果的に支援の遅れをもたらし、アフガニスタンの人びとの福祉にとって負の影響を与える。

ACBAR はまた、クンドゥーズや他の北部地域における、報告される暴力行為、交戦に巻き込まれた市民、略奪行為に関し懸念を表明する。これらは、人道支援団体職員を危険に陥れ、人道支援行為を妨害するものとなる。ACBAR はアフガニスタンの紛争の全ての当事者に、NGO やその職員・施設の中立性を尊重し、必要としている人びとへの人道的なアクセスを認めるように呼びかける。

翻訳: 竹村謙一 (JVC アフガニスタン事業インターン)

監訳: 小野山亮 (アフガニスタン事業統括) ・加藤真希 (アフガニスタン事業担当)

.....

【JVC 注】 ACBAR (アクバル) (Agency Coordinating Body for Afghan Relief & Development)

- ・アフガニスタンで活動する 135 の国内・国際 NGO のネットワーク団体。JVC も加盟団体。
- ・ACBAR ウェブサイト: <http://www.acbar.org>
- ・ACBAR 本声明原文:

<http://www.acbar.org/news/32/ACBAR-strongly-condemns-recent-attacks-on-humanitarian-aid-workers,-facilities-and-civilians-in-Kunduz,-Afghanistan.html>